

新市との連携を



遊佐の特性を活かし 自立と連携を

太田 薫 議員

問 本町では、自立した活力ある町づくりの一環として、「ゆき・元気のちから創生塾」を開講している。

これは、遊佐ならではの究極の地域戦略と思うが、反面、新市には、このおらが町構想がどう映るのだろうか。自立は孤立とは違う。

そのようななか、鳥海JCIが(株)酒田JCIと統合することになった。

今まで以上に環鳥海地域、とりわけ本町に対する取り組みが強力になされるだろう。このような交流こそ新市との

交流連携のチャンスであり、本町孤立化危機からの救世主であると信じてやまないが、町長の考えを聞く。

町長 鳥海青年会議所のこれまでの活躍を高く評価し、新しい時代にもうけた大いなる飛躍を、鳥海青年会議所の酒田青年会議所への合併に期待する。

時代は大きく進展する中、行政も一自治体完結型から交通インフラの整備など地域間相

互の連携や共同の取組が重要な時代となってきた。

さて、元気のちから創生塾は遊佐の持つ資源や開発可能性に関心を持ち、事業化を目指すやる気のある方を対象に、様々な経済団体と連携し、地域経済の活性化に努めていくもので勿論、酒田青年会議所を含めた関係機関・団体との連携も大事にしていきたい。

遊佐の地域性を発揮し、自立しながら連携することが環鳥海地域の多様な魅力になっていくものと確信している。



酒田青年会議所の新春初顔合わせ会